



高度救助隊
たる い ゆう か 消防士長

平成26年度入局
刈谷南中出身

救助を必要とする方が少しでも安心できるように

中学生の時、職場体験で刈谷消防署に来ました。体を動かすことが好きな自分にとても合っている仕事だと感じ、高校卒業後に入局しました。消防士となった後、知り合いが災害に巻き込まれてしまったことがあります、そのことをきっかけに消防士の仕事の中でも特に救助を志すようになりました。

高度救助隊をはじめ、救助係は過酷な現場が多いので、仲間とのコミュニケーションを心掛け、安全に活動ができるよう取り組んでいます。その現場で救助を待つ人はもっと過酷を感じているはずなので、そういった人たちに少しでも安心してもらえるよう、前向きな声掛けなども意識しています。

最近では、愛知県消防学校へ約1カ月入校し、救助隊員として救助活動の専門的教育を受けてきました。そこで学んだことを生かし、救助活動の組み立てを考え、1人で多くの命を助けられるよう精進していきたいです。

他にもさまざまな部署で活躍！



予防係
やま もと ゆり
山本 優里
消防司令補

平成22年度入局
依佐美中出身

火事を未然に防ぐ唯一の部署

学校での防火啓発実演講習や、防火設備の維持管理を行います。火災件数の減少など結果が目に見えることがやりがいの1つです。



高度救助隊
よし だ ゆう か 消防士

令和2年度入局
富士松中出身

全員が共通認識を持つことの大切さ

高校生の時、高校のプールで消防士が潜水訓練をしているのを見かけ、消防士に興味を持ちました。今では自分も潜水士の資格を保持しています。

昨年度までは救急車で傷病者を搬送することを主とした救急係に所属していたので、この1年は初めてのことも多くありましたが、知識を増やし、1つ1つの経験を大切にして、指示されたことを確実に遂行できるよう取り組んできました。

消防士は救助でも救急でも、1つの目的を達成するためには全員が共通認識をもって行動することが非常に重要で、常に仲間とコミュニケーションをとって意思統一を図っています。

救助係としては1年目ですが、消防士としては6年目。自分が中心となって活動していかなければならぬといふ自覚を持ち、救助隊員としての知識技術を研鑽していきたいです。



警防1係
ふく にし たく と
福西 拓斗
消防副士長

平成28年度入局 刈谷東中出身

自ら出向いて誰かの助けに

東日本大震災時の活躍を見て、消防士を志すようになりました。消火や救急などオールマイティに活躍できる消防士を目指します。

新人職員「皆さん命は私たちが守ります！」

警防1係

袴田 涼也 消防士

刈谷東中出身



警防2係

加藤 優心 消防士

雁が音中出身

1人でも多く救いたい

人の命を直接救う仕事がしたいと思い、消防士を志しました。先輩方の動きを見て学びを深め、信頼される救命士を目指します。

◆刈谷消防署を見学してみませんか

刈谷消防署では、随時見学を受け付けています。消防の仕事に興味がある人は、気軽に立ち寄りください。

救急車を上手に使いましょう

～救急車必要なのは どんな時～

問 衣浦東部広域連合消防局消防課 (☎63-0135)

◆救急医療を適時・適切に利用しましょう

全国の救急出動件数は過去最多となり、救急車の平均到着時間は延びています。心停止から1分ごとに、救命率は7~10%下がります。

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どこの病院に行けばいいか分からない」「困っているから」と救急車を呼ぶ人がいます。また、「平日は休めない」「日中は用事がある」などの理由で、救急外来を休日や夜間に受診する人もいます。

救急車や救急医療は限りある資源です。緊急性の高い傷病者の元へ救急車が迅速に到着できるよう、救急医療を適時・適切に利用しましょう。

◆救急車の不適切利用例



◆こんな時はすぐに119番

意識がない、返事がない	呼吸がない、呼吸が弱い
けいれんが止まらない	突然の顔や手足のしびれ
突然の激しい頭痛や腹痛	嘔吐や下血がある
冷や汗を伴う強い吐き気	締め付けられるような胸の痛み
突然上手に話せなくなる	広範囲のやけど、大量の出血
その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合	

救急車が呼ばれた不適切なケース～本当に必要か考えてみましょう～

- ▶蚊に刺されてかゆい
- ▶病院でもらった薬がなくなった
- ▶海水浴に行って日焼けした足がヒリヒリする
- ▶入院予定日だから病院に行きたい
- ▶紙で指先を切った
- ▶ヘルパーを呼んだが来てくれなかった
- ▶病院で長く待つの面倒